

あわ  
粟

## 島(岩船・粟島浦村)

■環境：島  
 ■対象：一般  
 ■期間：4月中旬～5月中旬  
 9～10月

粟島は岩船港から35kmの海上にある。春秋の渡りの時期には多くの小鳥類が羽を休めていく。島の北側には天然記念物のオオミズナギドリの繁殖地がある。

## 〈小さな島は渡り鳥でいっぱい〉

厳しい冬が終わり春本番を前にして、粟島は北へ帰る冬鳥や日本で夏を過ごす夏鳥たちの渡りの中継地として最もにぎやかな季節となる。面積約9.2km<sup>2</sup>の島に沢山の鳥たちがやってくるので、まずその数の多さに驚かされる。毎年、珍鳥や迷鳥の渡来も期待され、粟島での探鳥は魅力たっぷりである。

## 〈海の上も見逃せない魅力〉

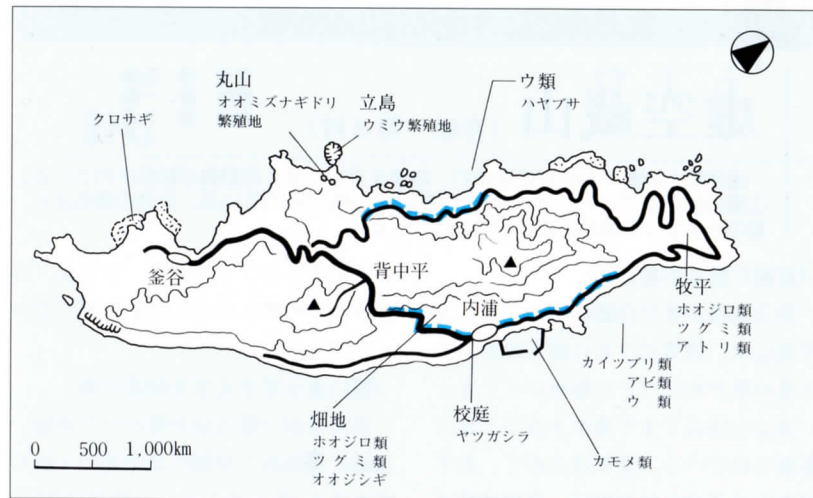
粟島探鳥のもう一つの魅力に、岩船港からの航路での探鳥がある。フェリ

ー(所要時間1時間50分)が岩船港を出航して30分、三面川河口沖を通過するところからの約1時間が海鳥探鳥に最適で、この時間、船上からたっぷりイルカウォッチングも楽しめ、魅力のひとつとなっている。

## 〈島の中でのポイント〉

島内での探鳥地は内浦の畑地、小中学校の校庭、島北端の牧平、北西海岸などがあげられる。

内浦や牧平はホオジロの仲間、ツグミの仲間、アトリの仲間などが多く、



オオジギなども見られるが、整備された畑地が多いので、探鳥に夢中になって畑地を荒らすことのないよう、特に注意が必要である。校庭では、スズメの群れに交じって珍鳥が採餌(じ)していることが多く、これまでにキタツメナガセキレイやヒメコウテンシ、コハウアカなどが観察され、ヤツガシラはここではほぼ毎年見られている。内浦から牧平への海岸沿いの林ではアカハラなどの大型ツグミ類が多く、またコマドリ、オオルリ、キビタキ、アオジなども道端に普通に姿を見せる。

北西海岸では、ウミウやオオミズナギドリの繁殖地やハヤブサの繁殖地などもある。

粟島ではこの時期、渡りの途中の鳥たちが観察されるが、鳥が疲労してい

るせいかあまり人を恐れる様子がなく身近で観察できるのが特徴となっている。

(宮越一俊)

## メモ

**交通** JR村上駅下車。タクシー利用、岩船港へ(所要時間15分)。

岩船港から高速船またはフェリーで粟島へ。フェリーは一日一便のみだが、海上の探鳥にはフェリーが最適(所要時間1時間50分)。

☑ 自家用車で来る方は、岩船港(粟島汽船のりば)に駐車場あり。

**探鳥会** 4月下旬、村上野鳥の会主催「粟島一泊探鳥会」があるが、年によっては実施しないこともあるので確認の要あり。

問い合わせ先：宮越一俊

☎0254-52-2774



粟島西海岸